

児童福祉施設

施設別	建 坪	収 容 員 数	設 置 主 体	備 考
福 生 保 育 園	95	100	東 京 都	
熊 川 保 育 園	75	60	東 京 都	
東 福 保 育 園	103	100	私 立	
す み れ 保 育 園	66	60	福 生 町	建 築 中

町 営 住 宅

年 度	住 宅 の 構 造	建 設 場 所	戸 数	延 建 坪 数
昭 和 28 年 度	木造セ瓦葺平家	大字福生 921番地	25	262坪50
29	〃	大字熊川1,108番地	30	315〃00
30	〃	大字福生 959番地	30	315〃00
31	〃	大字熊川 978番地	20	210〃00
32	〃	大字福生1,081番地	15	157〃50
33	〃	大字福生2,090番地	20	210〃00
34	〃	大字福生1,940番地	20	210〃00
計			160	1,680.00

国民健康保険

1. 国保運営協議会委員

被 保 険 者 代 表	医 師 歯 科 医 師 代 表	公 益 議 会 代 表	計
3	3	3	9

2. 医療担当者

病 院	一 般	歯 科 医 師	計
2	15	8	25

3. 昭和35年度国保特別会計予算(管のみ)

才 入		才 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
国保徴収金(保険料)	6,214,000	役 場 費	1,178,742
国 庫 支 出 金	4,046,500	保 險 給 付 費	9,150,260
都 支 出 金	261,000	保 險 施 設 費	484,559
繰 入 金	200,000	公 債 費	31,500
繰 越 金	700,000	諸 支 出 金	426,025
雑 取 入	2,100	予 備 費	152,514
計	11,423,600	計	11,423,600

4. 受診状況 (昭和34年4月～昭和35年3月)

区 分	件 数	日 数	費用額	保 險 者 負 担 分	被 保 險 者 負 担 分	公 費 負 担 分	一 件 当 点 数
入 院	440	6.852	4.364.035	2.155.424	2.118.537	90.074	9.918
入 院 外	13.176	53.625	10.296.536	5.061.161	5.054.526	180.849	781
歯 科	3.179	13.185	2.878.721	1.439.365	1.439.356	0	906
療 養 費	59	—	226.646	113.323	113.323	—	1.044
計	16.854	73.662	17.765.938	8.769.273	8.725.742	—	1.095
助産費の支給	79	—	79.000	79.000	—	—	—
葬祭費の支給	36	—	72.000	72.000	—	—	—
合 計	16.969	73.662	17.916.938	8.920.273	8.725.742	270.923	—

5. 保険指導実績

区 分	月 別											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
乳 幼 児	61	32	57	46	19	12	28	32	47	16	22	22
母 性 保 護	2	2	3	2	13	4	5	10	2	2	3	5
結 核	1	3	4	3	2	1	7	2	2	4	4	9
幼 児 栄 養	2	3	2	1	3	1	1	3	6	5	5	8
湿 疹	6	1	2	2	1	1	2	2	1	4	3	6
へ ル ニ ア	1	—	4	—	2	—	—	—	3	1	—	2
口 内 炎	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
下 痢	—	—	—	—	—	—	—	4	2	1	1	1
便 秘	—	3	—	4	—	—	—	1	—	2	2	2
脱 肛	2	—	—	1	—	1	—	4	3	—	—	2
肺 炎	1	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—
赤 痢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—
高 血 圧	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	77	44	72	59	40	20	43	60	67	40	40	58

6. 昭和34年度決算額

才 入		才 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
保 險 料	6,022,184	役 場 費	1,073,777
一 部 負 担 金	21,912	保 險 給 付 費	8,998,863
使 用 料、手 数 料	6,650	保 健 施 設 費	648,018
国 庫 支 出 金	4,424,858	公 債 費	0
都 支 出 金	208,904	諸 支 出 金	415,048
繰 入 金	600,000	予 備 費	0
繰 越 金	1,336,915		
雑 収 入	58		
計	12,621,481	計	11,135,706

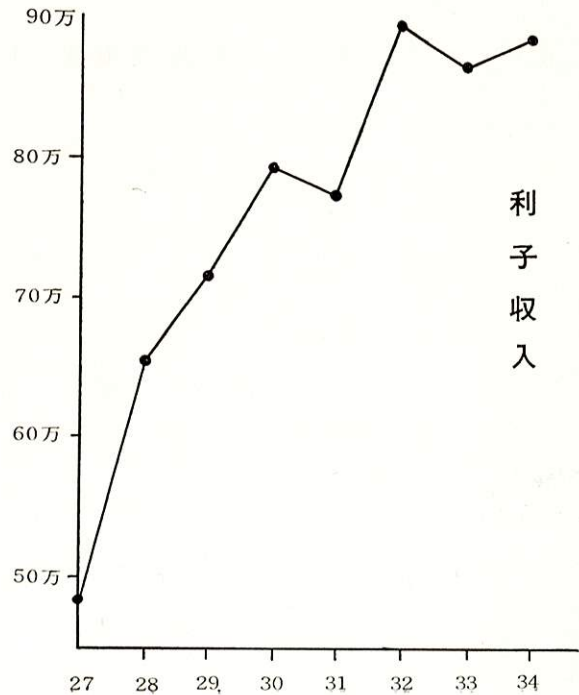
才入、才出差引残金 1,485,775円也

公益質屋

昭和26年、庶民の金融機関として発足した公益質屋は今年で十年目を迎え、開設当初東京都の貸付金100万円で運営されていた資金も、その後起債の許可をうけて330万円の拡大され、昨年度においては融資額も約800万円となり順調な運営をされている。

運転資金の内訳 (昭35.4.1.現在)

自己資金	借入金	計
2,136,664	1,163,336	3,300,000
既返済分	未返済分	借入の総額



貸付金と回収金

単位千円

年 度	貸 付 金		回 収 金			
	貸付金	運転資金繰越	回収金	運転資金繰入金	町 債	欠損補填金
昭和 26 年度	865	342	207	—	1,000	—
27	6,379	—	5,537	342	500	—
28	6,716	133	6,349	—	500	—
29	6,792	287	6,646	133	300	—
30	7,475	266	7,454	287	—	—
31	7,254	1,041	7,029	266	1,000	—
32	8,406	793	8,158	1,041	—	—
33	7,867	747	7,787	794	—	33
34	7,946	777	7,976	747	—	—